

《リアカー小屋修繕》

～破壊から修繕まで～

細野 敢湧 藤本 和真 古川 楽斗 古山 温規
水谷 亮太 宮田 蓮 山木田 博樹

1 はじめに

私たちは校内整備をテーマにし、その中で最も修繕が必要なリアカー小屋を修繕することにしました。また、校内においてその他修繕が必要な個所を見つけ修繕することにしました。

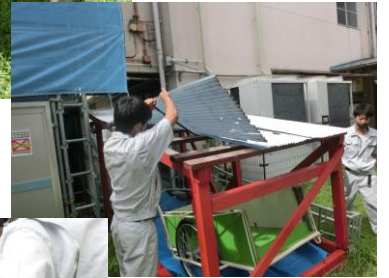
2 リアカー修繕

リアカーは全部で二台あり、ボディーの状態や、塗装が剥がれているところ、錆が目立っていたため、ボディーの取り替え、リアカーの枠のバリ取り及び、車輪のメンテナンス、再塗装を行いました。



取り外し、木工室へ行き、大体それに合った木材を使い、長さを測り切断し、アンカーボルトを使い、取り付けました。次に、小屋の再塗装を行い一度だけでは塗装が剥がれやすいので2度塗りを行いました。

そして、古くなった屋根を全て取り外し、新しいガルバリウムを用い、黒のペンキでむらなく塗装を行いました。最後に、小屋作成者の看板を作成しました。



3 リアカー小屋修繕

始めに、腐食している一部の木材を



4 リアカー橋製作

他に不備なところがないか点検したところ木材で出来ていたリアカーの橋がだいぶ腐食していたので L アンクルで溶接し、作成しました。



5 その他

リアカー小屋修繕以外にもさまざまな活動を行ってきました。

5-1 ゴミ拾い

余った時間を使って校舎周りのゴミ拾いを行いました。特に駐輪場のゴミが多く、すみずみまで綺麗にしました。



5-2 大理石掃除

高圧洗浄機で大理石を洗い、その後ブラシを使いさらに綺麗ににして、使用または歩く人たちが、綺麗なところに過ごせるようにした。



5-3 側溝掃除

土質実験室の南側の側溝「20m」の掃除を行いました。



6 まとめ

・さまざまな工具や機械を使って行く中で始めて使う道具ばかりで先生の指導のもと安全第一にできた。

・材料を購入するだけでなく廃材を利用しコストの面でも考慮して作業を進めることが出来た。

・自分たちの身の回りのものを修繕、改良することによって綺麗な学校作りを考え、リアカー以外にも景観や機能が低下したものでまで修繕し学校に貢献が出来た。